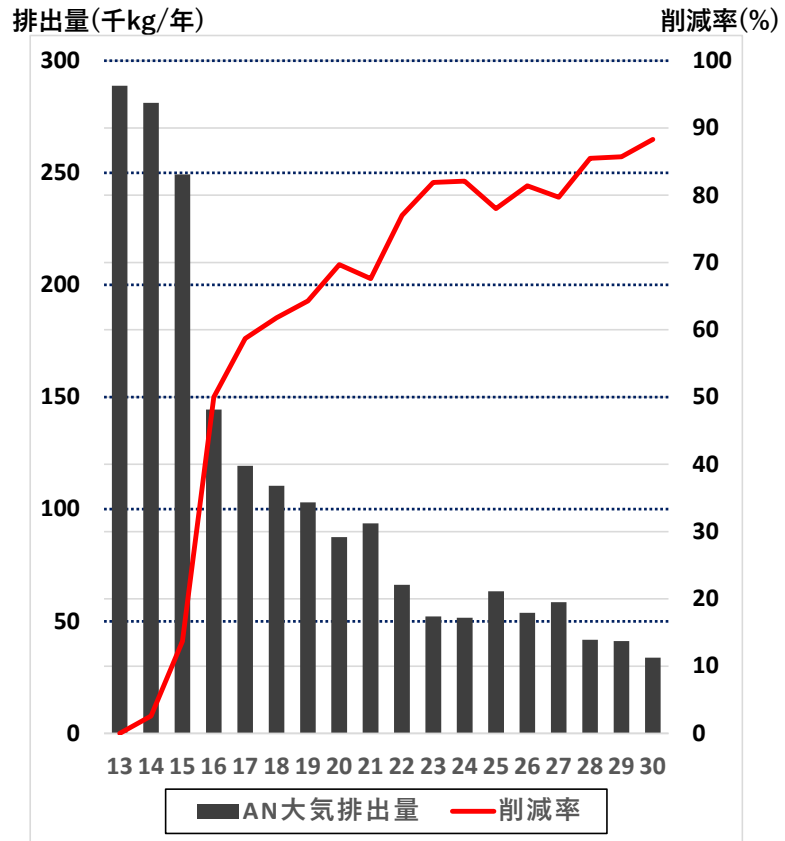


令和元年9月20日
日本ABS樹脂工業会
千代田区麴町3番1号

アクリロニトリル排出削減の取組状況及び今後の見通しについて

1. AN排出削減の実績

年度 (平成)	AN大気排出量 (Kg)	削減率 (%)
13	288,800	0.0
14	281,150	2.6
15	249,300	13.7
16	144,370	50.0
17	119,340	58.7
18	110,380	61.8
19	102,990	64.3
20	87,530	69.7
21	93,630	67.6
22	66,300	77.0
23	52,150	81.9
24	51,630	82.1
25	63,400	78.0
26	53,740	81.4
27	58,550	79.7
28	41,800	85.5
29	41,200	85.7
30	33,800	88.3



※日本ABS樹脂工業会の会員企業のPRTR届出データ（大気排出量）の合計値

2. 排出削減の取組状況

- ①平成28年6月の3省合同審議会での報告以降、ABS業界一丸となってANの排出削減に取り組んでいる。平成30年度のAN大気排出量は、33,800kgと13年度対比で88.3%の削減率となっている。
- ②平成28年度以降、各社の状況に応じて、製造プロセス中のANの含有排ガスの捕集強化、排ガスの完全燃焼によるANの完全分解化、また、排ガス低減のための貯蔵タンクの更新等の大規模投資を伴う対策を講じてきている。この結果、ANの排出量抑制は一時の停滞期を脱し、排出削減の効果が出てきている。

3. 今後の見通しについて

ANの排出削減強化のための新たな設備投資を検討している会社を含め、令和3年度頃にはANの大気排出量は20,000kg以下(平成13年度比93.1%の削減)に改善され、平成28年3月の3省合同審議会においてPRTR情報に基づく排出源ごとの暴露シナリオによる評価で指摘されたリスク懸念箇所は解消されていく見込みである。

以上